



登米市立病院改革プランの実施状況・評価

平成23年8月

登米市立病院等運営協議会

目 次

「登米市立病院改革プラン」実施状況の評価にあたって	1
（登米市立病院等運営協議会長 佐藤 安宏）	
1. 経営の効率化	
取組状況	2
財務内容改善に係る数値目標	5
公立病院として提供すべき医療の確保に係る数値目標	6
収支計画と決算の状況	
登米市病院事業	7
登米市民病院（佐沼病院）	9
登米診療所	10
米谷病院	11
豊里病院	12
よねやま病院	13
定員管理に関する計画及び実績	14
【評価】	14
【今後改善を望む事項】	14
2. 再編・ネットワーク化	15
【評価】	15
【今後改善を望む事項】	15
3. 経営形態等の見直し	16
【評価】	16
【今後改善を望む事項】	16
4. 総合的な所見	
（1）期待される地域医療の役割を果たしているか	17
（2）積極的に経営改善に取り組んでいたか	17
（3）その他改革プランに対する総合的な所見	17
登米市立病院等運営協議会委員名簿	18

「登米市立病院改革プラン」実施状況の評価にあたって

平成 20 年 4 月に病院事業管理者が公営企業法全部適用になって 3 年が経過し、登米市立 4 病院、3 診療所の経営が改革プランに沿って改善がなされ、収支バランスのとれた効率よい運営がなされているかの評価である。これまでに改善された主な項目は、入院基本料の見直し、施設基準の見直し、登米診療所の日曜診療、訪問看護の充実等があげられる。

一方、病院経営の根幹をなす外来患者数、入院患者数は 21 年度に比較して 22 年度は入院延患者数 9,525 人 (8.2%) の減少、金額にして 2 億 400 万円の減収。外来延患者数は 22, 574 人 (7.2%) の減少で、金額にして 3 億 500 万円の減収。唯一訪問看護が延患者数で 4, 383 人 (19.1%) の増で、金額にして 3,200 万円の増収となっている。

病院事業管理者が全部適用前の 19 年度と全部適用から 3 年経過した 22 年度の入院・外来・訪問看護の状況は下記の表のとおりである。この表の合計では平成 22 年度は平成 19 年度に比較して入院・外来総患者数で 10 万 9,552 人 (20.5%) の減少、金額にして 23 億 4,400 万円 (29.8%) の減収である。平成 19 年度末の累積欠損金は 87 億 3,400 万円、平成 22 年度末で 106 億 4,300 万円になり全部適用後 3 年間で 19 億 900 万円の欠損金増である。これに平成 22 年度末の企業債残高は 53 億 7,000 万円、不良債務 10 億 8,500 万円がある。このうち不良債務は平成 27 年度までに解消するとしているが、経営の改善がなされない場合は、毎年一般会計からの繰入が 20 数億円前後投入することになり、こうした状況が続けば、平成 23 年度から平成 27 年度末までに一般会計からの繰入金が必要となる。

本委員会において、平成 20 年当初からなぜ赤字になるのか、病院経営の健全化に向け欠かすことのできない項目をあげ、分析するように要求してきたが一向に分析をした形跡もなく、一般会計の繰り入れ頼みの経営では、単年度の黒字化は到底望めない。また、改革プランの内容は本来赤字になる原因を分析し、その原因項目を一つ一つ解消するための項目を 20 年度当初から実施すべきであるのに、3 年前の項目が今後の取組みや検討課題としている現状では経営の改善が進まないのは当然である。このままの状況が続くのであれば平成 22 年 9 月に、登米市立病院経営形態のあり方懇話会の結論等の方向へ検討を急ぐ必要があるのではないかと考える。関係者の英断が望まれる。

区 分		平成 22 年度	平成 19 年度	比較増減	増減率
入 院	年延患者数 (人)	106,584	161,486	▲54,902	▲34.0%
	金 額 (円)	2,780,000,000	3,918,259,785	▲1,138,259,785	▲29.0%
外 来	年延患者数 (人)	289,978	358,313	▲68,335	▲19.0%
	金 額 (円)	2,538,000,000	3,856,187,579	▲1,318,187,579	▲34.1%
訪問看護	年延患者数 (人)	27,356	13,669	13,687	100.1%
	金 額 (円)	215,000,000	103,130,942	111,869,058	108.4%
合 計	年延患者数 (人)	423,918	533,468	▲109,550	▲20.5%
	金 額 (円)	5,533,000,000	7,877,578,306	▲2,344,578,306	▲29.8%

平成 23 年 8 月

登米市立病院等運営協議会
会 長 佐 藤 安 宏

1. 経営の効率化

<取組状況>

病院改革プランで設定した数値目標達成に向けた具体的な取り組みのうち、平成22年度までに取り組んだ内容については次のとおり。(注：●は平成20年度、○は平成21年度、◎は平成23年度追加・変更)

項目	取組み内容	効果	今後の取り組み・課題等
地方公営企業法全部適用	●平成20年4月に一部適用から全部適用に移行し、病院事業管理者を設置	●運営の機動性の向上	●経営形態の見直しと合わせて全部適用継続の可否について検討する
入院基本料の見直し	●平成20年10月から米谷病院において、平均在院日数の短縮等により、13対1入院基本料(1,092点)から10対1(1,300点)へ上げた	●点数差 208点(2,080円) ●平成20年10月から3月入院患者数 7,885人 ●効果額 2,080円×7,885人 =16,400千円	●平均在院日数の短縮に努め、現在の入院基本料を維持する ◎市民病院において平成23年6月から7対1入院基本料を取得
未収金の徴収	●徴収嘱託員による徴収1名配置	●平成20年度未収金 期首残高 91,856千円 収納額 43,742千円 (うち、嘱託員7,537千円) ○平成21年度未収金 期首残高 93,050千円 収納額 45,799千円 (うち、嘱託員5,638千円) ◎平成22年度未収金 期首残高 76,613千円 収納額 35,824千円 (うち、嘱託員6,642千円)	●未収金の発生防止に努めるとともに、徴収の強化を図る
院外処方の実施	●平成20年4月から佐沼病院、豊里病院において、院外処方を開始した ◎平成23年1月から登米診療所において、院外処方を開始した	●平成20年度院外処方率 佐沼病院 65.4% 豊里病院 93.8% ○平成21年度院外処方率 佐沼病院 67.7% 豊里病院 98.0% ◎平成22年度院外処方率 佐沼病院 68.8% 豊里病院 98.0% 登米診療所 100.0%	●実施率の向上対策 ●薬剤師の有効活用を図り、薬剤管理指導料の増収に努める ◎米谷病院、よねやま診療所における院外処方の実施
在宅療養支援診療所化	●平成20年12月から登米診療所において、在宅療養支援診療所化 ●実際の患者獲得は平成21年2月から	●訪問診療収入比較(月平均) 前:586,055円(4月~1月) 後:964,395円(2月~3月)	●平成23年度体制に向けての体制整備
施設基準の見直し	○平成21年10月より米谷病院で検体検査管理料(Ⅱ)を取得 ○平成22年2月より佐沼病院で脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)を取得	○検体検査管理料(Ⅱ) 260千円 ○脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ) 781千円	

項目	取組み内容	効果	今後の取組み・課題等
施設基準の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ◎平成22年4月より登米診療所、上沼診療所、津山診療所で明細書発行体制加算(1点)を算定 ◎平成22年4月より佐沼病院でがん性疼痛緩和指導管理料(100点)を算定 ◎平成22年4月より佐沼病院で肝炎インターフェロン治療計画料(700点)を算定 ◎平成22年5月より佐沼病院で外来化学療法加算Ⅰ(550点)を算定 ◎平成22年6月より豊里病院で救急搬送患者地域連携受入加算(1,000点)を算定 ◎平成22年7月より米谷病院で救急医療管理加算(800点)を算定 ◎平成22年9月より佐沼病院で一般病棟看護必要度評価加算(5点)を算定 ◎平成22年9月より佐沼病院で急性期看護補助体制加算(120点)を算定 ◎平成23年3月より米谷病院で救急搬送患者地域連携受入加算(1,000点)を算定 	<ul style="list-style-type: none"> ◎明細書発行体制加算 ◎がん性疼痛緩和指導管理料 118,000円 ◎肝炎インターフェロン治療計画料 ◎外来化学療法加算Ⅰ 1,798,500円 ◎救急搬送患者地域連携受入加算 50,000円 ◎救急医療管理加算 5,992,000円 ◎一般病棟看護必要度評価加算 14,146,000円 ◎急性期看護補助体制加算 16,920,540円 	
日曜診療の実施	○平成21年8月より登米診療所で日曜診療を開始	<ul style="list-style-type: none"> ○平成21年度 患者数 1,120人 診療収入 12,265千円 ◎平成22年度 患者数 2,522人 診療収入 20,141千円 	
給食の業務委託	●平成20年4月から佐沼病院の給食業務を全面業者委託とした	<ul style="list-style-type: none"> ●業務委託費 87,126千円(給食材料費込み) ●材料費 36,824千円の削減 ●調理師等の配置換え 人件費 87,024千円の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●給食関連収入との比較 ●材料費等高騰時の対応
医学生奨学金制度による貸付	●平成19年度から市独自の奨学金制度を開始	<ul style="list-style-type: none"> ●平成19年度 2名 ●平成20年度 3名 ○平成21年度 6名 ◎平成22年度 5名 合計 16名 	◎平成23年度 2名

項目	取組み内容	効果	今後の取組み・課題等
病床の削減	●平成20年4月から登米病院(98床)を無床診療所化	●職員数 平成19年度末 54人 平成20年度末 19人 ●純利益(▲損失) 平成19年度▲182,622千円 平成20年度▲112,274千円	◎平成23年4月からよねやま病院(53床)を診療所化
定員管理	●退職不補充や配置換え、割愛人事により定員の適正化に努めた ◎看護師の県への研修派遣による人件費の抑制(平成22年度8人)	●正職員人数 平成19年度末 554人 平成20年度末 497人 ○平成21年度末 478人 ◎平成22年度末 452人 ●職員給与費 平成19年度5,415,668千円 平成20年度4,868,306千円 ○平成21年度4,674,129千円 ◎平成22年度4,592,985千円	●平成23年度体制に向けて、勸奨退職を活用し、年度ごと定員管理を図る
訪問看護の充実	●平成20年12月に佐沼病院の看護師2名を豊里病院に兼務発令をし、訪問看護の実践研修を開始 ●平成21年4月から佐沼病院へサブステーションを設置し、体制強化を図る	●平成20年度患者数 米谷:7,487人(6,456人) 豊里:10,878人(7,213人) 合計:18,365人(13,669人) ※()内は平成19年度 ○平成21年度患者数 佐沼:1,865人 米谷:8,732人 豊里:12,376人 合計:22,973人 ◎平成22年度患者数(前年比) 佐沼:3,701人(198.4%) 米谷:10,136人(116.1%) 豊里:13,519人(109.2%) 合計:27,356人(119.1%)	◎平成23年4月から豊里病院訪問看護ステーションへ看護師1名、作業療法士1名を増員 ◎平成23年4月から米谷病院訪問看護ステーションへ看護師1名、作業療法士2名を増員(作業療法士は院内から配置換え)
不良債務の解消	●平成19年度分の不良債務を解消するため、公立病院特例債の発行	●一時借入金を長期債務に振り替えることで資金繰りの安定化	●公立病院特例債の償還が完了する平成27年度までに全ての不良債務を解消する

<財務内容改善に係る数値目標>

経営効率化の取り組みと効果を確認していくため、病院改革プランにおいて設定した数値目標と実績は次のとおり。

項目	H22 目標	H22 実績	差 (実績-目標)	説明	
経常収支比率	94.4%	93.2%	▲1.2%		
医業収支比率	85.3%	85.9%	0.6%		
職員給与費対医業収益比率	59.4%	65.2%	5.8%	人件費そのものは、ほぼ計画どおりの額となっているが、医業収益の減少により比率が上昇した	
病床利用率	一般病床全体	60.4%	55.7%	▲4.7%	
	佐沼病院	55.5%	51.5%	▲4.0%	耐震補強工事の実施による影響
	米谷病院	87.8%	87.0%	▲0.8%	
	豊里病院	72.3%	64.4%	▲7.9%	内科医の退職に伴い、患者の受入れ調整を行ったことによる
	よねやま病院	47.0%	39.5%	▲7.5%	平成 23 年 4 月からの診療所化への移行を考慮し、入院患者の受入れ調整を行ったことによる
	療養病床（豊里）	98.0%	98.3%	0.3%	

＜公立病院として提供すべき医療の確保に係る数値目標＞

項目		H22 目標	H22 実績	差 (実績-目標)	説明
入院患者数(人)	全体	114,544	106,584	▲7,960	
	佐沼病院	60,808	56,413	▲4,395	耐震補強工事の実施による影響
	米谷病院	15,696	15,550	▲146	
	豊里病院	28,950	26,982	▲1,968	内科医の退職に伴い、患者の受入れ調整を行ったことによる
	よねやま病院	9,090	7,639	▲1,451	平成23年4月からの診療所化への移行を考慮し、入院患者の受入れ調整を行ったことによる
外来患者数(人)	全体	311,779	289,978	▲21,801	
	佐沼病院	112,556	97,350	▲15,206	耐震補強工事の実施による影響
	米谷病院	38,880	41,158	2,278	
	豊里病院	76,361	76,327	▲34	
	よねやま病院	40,350	34,076	▲6,274	佐沼病院の人工透析の廃止に伴い、患者の増加を見込んでいたが、見込数よりも減少したため 平成23年4月からの歯科民営化に向けての施設整備の実施により休診期間が発生したため
	登米診療所	35,964	33,335	▲2,629	平成23年4月からの歯科民営化に向けての準備により、診療を制限したため
	上沼診療所	4,262	4,894	632	
	津山診療所	3,406	2,838	▲568	常勤医師の不在期間が発生し、診療日数が減少したことによる影響
訪問看護患者数(人)	全体	22,658	27,356	4,698	
	佐沼病院	1,731	3,701	1,970	
	米谷病院	8,699	10,136	1,437	
	豊里病院	12,228	13,519	1,291	

<収支計画と決算の状況>

登米市病院事業

収益的収支

登米市病院事業

(単位:百万円、%)

区分	年度	H19年度		H20年度		H21年度		H22年度			H23年度
		決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	計画額	決算見込額	差引	計画額
収入	1. 医業収益 a	8,120	6,794	6,669	6,569	6,723	6,937	6,342	△ 595	6,776	
	(1) 料金収入	7,877	6,440	6,259	5,852	6,010	5,882	5,533	△ 349	5,720	
	入院収益	3,918	3,403	3,223	2,865	2,984	2,896	2,780	△ 116	2,980	
	外来収益	3,959	3,037	3,036	2,987	3,027	2,986	2,753	△ 233	2,739	
	(2) その他	242	354	410	717	713	1,054	808	△ 246	1,056	
	うち他会計負担金	25	214	214	532	513	872	609	△ 263	872	
	うち基準内繰入金		183	183	509	490	498	586	87	498	
	うち基準外繰入金	25	32	32	23	23	374	24	△ 350	374	
	2. 医業外収益	462	550	553	735	731	1,012	857	△ 154	660	
	(1) 他会計負担金	280	374	374	525	507	804	640	△ 164	459	
	うち基準内繰入金	280	303	303	462	444	742	492	△ 249	397	
	うち基準外繰入金	0	71	71	63	63	63	148	85	63	
	(2) 他会計補助金	130	129	129	168	182	161	185	24	152	
	一時借入金利息分										
	その他	130	129	129	168	182	161	185	24	152	
	(3) 国(県)補助金	1	0	0	1	1	22	7	△ 15	24	
	(4) その他	51	47	50	41	40	25	26	1	24	
	経常収益(A)	8,582	7,344	7,222	7,304	7,453	7,949	7,199	△ 750	7,436	
	支出	1. 医業費用 b	9,632	8,461	8,094	7,807	7,651	8,134	7,384	△ 751	7,151
(1) 職員給与費 c		4,746	4,508	4,450	4,269	4,231	4,124	4,137	13	3,865	
基本給		2,327	2,141	2,114	2,040	2,032	1,980	1,919	△ 61	1,849	
退職手当											
その他		2,420	2,367	2,336	2,229	2,199	2,144	2,218	74	2,016	
(2) 材料費		2,654	1,936	1,681	1,589	1,555	1,590	1,399	△ 191	1,401	
うち薬品費		2,214	1,603	1,333	1,358	1,228	1,328	1,114	△ 214	1,152	
(3) 経費		1,799	1,615	1,550	1,533	1,441	1,606	1,407	△ 199	1,545	
うち委託料		627	681	652	613	608	723	577	△ 146	677	
(4) 減価償却費		415	388	396	399	401	404	400	△ 4	322	
(5) その他		19	14	17	17	23	410	41	△ 370	19	
2. 医業外費用		446	395	396	321	328	290	343	53	283	
(1) 支払利息		247	267	245	181	181	190	171	△ 19	191	
(2) その他		199	128	151	140	147	100	172	72	93	
経常費用(B)		10,078	8,856	8,491	8,128	7,979	8,425	7,727	△ 698	7,434	
経常損益(A)-(B)(C)		△ 1,496	△ 1,512	△ 1,269	△ 825	△ 526	△ 476	△ 528	△ 52	1	
特別損益		1. 特別利益(D)	1			227	227	226	226	0	227
		うち他会計繰入金				224	224	226	226		227
		2. 特別損失(E)	4	4	4	4	5	4	31	28	4
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 4	△ 4	△ 4	223	222	222	195	△ 28	224	
純損益(C)+(F)	△ 1,500	△ 1,516	△ 1,273	△ 602	△ 304	△ 254	△ 333	△ 80	225		
累積欠損金(G)	8,734	10,250	10,007	10,608	10,310	10,862	10,643	△ 219	10,638		
流動資産(ア)	1,518	1,243	1,275	1,192	1,382	1,198	1,433	234			
流動負債(イ)	3,122	2,367	2,140	2,474	2,340	2,547	2,385	△ 162			
翌年度繰越財源(ウ)							133				
当年度許可債で未借入又は未発行の額(エ)											
累積欠損金比率 $\frac{(G)}{a} \times 100$	107.6	150.9	150.1	161.5	153.4	156.6	167.8	11.2	157.0		
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	84.3	80.3	82.4	84.1	87.9	85.3	85.9	0.6	94.8		
健全化法施行令第16条により算定した資金の不足額(イ)	1,604	1,124	864	1,282	958	1,348	1,085	△ 396			
健全化法施行令第17条により算定した事業の規模(K)	8,120	6,794	6,669	6,569	6,723	6,937	6,342		6,776		
健全化法第22条により算定した資金不足比率 $\frac{(I)}{(K)} \times 100$	19.7	16.5	12.9	19.5	14.2	19.4	17.1	△ 2.3			

(注)・四捨五入により百万円単位で表示しているため、計数が符合しない場合がある。
 ・平成21年度見込額は、地方公営企業決算状況調査が未確定のため、数値が変動する場合がある。
 ・平成21年度見込額で医業費用の職員給与費と経費の間で応援医師報酬等を調整しているため、地方公営企業決算状況調査と一致しない場合がある。

資本的収支

(単位:百万円、%)

区分	年度	H19年度	H20年度		H21年度		H22年度			H23年度
		決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算見込額	差引	計画額
収入	1. 企業債		2,190	2,190	24	21	598	330	△ 268	
	2. 他会計出資金	435	300	347	665	615	538	634	97	316
	3. 他会計負担金	6	28	28	62	62	46	41	△ 6	55
	うち基準内繰入金									
	うち基準外繰入金	6	28	28	62	62	46	41	△ 6	55
	4. 他会計借入金									
	5. 他会計補助金					1				
	6. 国(県)補助金				71	10	681	446	△ 235	451
	7. 工事負担金									
	8. 固定資産売却代金									
9. その他	1		1		0					
収入計 (a)	442	2,518	2,566	822	710	1,862	1,451	△ 411	822	
うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b)								133	133	
前年度同意等債で当年度借入分 (c)										
純計(a)-(b)+(c) (A)	442	2,518	2,566	822	710	1,862	1,318	△ 544	822	
支出	1. 建設改良費	127		49	449	336	1,500	1,032	△ 468	451
	うち職員給与費									
	2. 企業債償還金	307	886	886	536	536	542	542	△ 0	543
	うち建設改良のための企業債分	307	886	886	311	311	316	316		316
	うち災害復旧のための企業債分									
3. 他会計長期借入金返還金										
4. その他	6	28	28	62	62	46	41	△ 6	55	
うち繰延勘定										
支出計 (B)	439	915	964	1,046	934	2,088	1,614	△ 474	1,049	
差引不足額 (B)-(A) (C)	△ 3	△ 1,603	△ 1,603	224	224	226	296	70	227	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金									227
	2. 利益剰余金処分額									
	3. 繰越工事資金									
	4. その他		0		224	224	226	286	60	
計 (D)		0		224	224	226	286	60	227	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	△ 3	△ 1,604	△ 1,603				10	10		
当年度許可債で未借入又は未発行の額 (F)										
実質財源不足額 (E)-(F)	△ 3	△ 1,604	△ 1,603				10	10		

(注)四捨五入により百万円単位で表示しているため、計数が符合しない場合がある。

一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H19年度	H20年度		H21年度		H22年度			H23年度
	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算見込額	差引	計画額
収益的収支	(26)	(104)	(104)	(92)	(92)	(442)	(177)	(▲265)	(442)
資本的収支	435	718	718	1,449	1,427	2,063	1,660	▲ 403	1,711
	441	328	376	727	678	584	675	91	371
合計	(209)	(241)	(265)	(441)	(417)	(712)	(489)	(▲222)	(609)
	877	1,045	1,093	2,176	2,105	2,647	2,335	▲ 312	2,082

※下段は実繰入総額、上段は基準外繰入金(再掲)

収益的収支

佐沼病院

区分	年度	H19年度		H20年度		H21年度		H22年度			H23年度
		決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算見込額	差引	計画額	
収入	1. 医業収益 a	4,235	3,607	3,547	3,381	3,461	3,388	3,200	△ 188	3,701	
	(1) 料 金 収 入	4,117	3,362	3,283	2,840	2,948	2,734	2,614	△ 120	2,966	
	入 院 収 益	2,381	2,214	2,112	1,753	1,843	1,755	1,697	△ 59	1,948	
	外 来 収 益	1,736	1,148	1,171	1,087	1,104	978	917	△ 61	1,018	
	(2) そ の 他	118	245	264	541	514	654	586	△ 68	735	
	うち他会計負担金	13	173	174	450	423	568	493	△ 75	642	
	2. 医業外収益	188	280	285	293	291	285	295	11	286	
	(1) 他会計負担金	85	174	174	169	162	164	177	13	163	
	(2) 他会計補助金	68	73	73	92	99	85	98	12	84	
	(3) 国(県)補助金	1		0	1	1	20	4	△ 17	23	
(4) そ の 他	35	33	38	31	29	15	17	2	16		
経常収益益(A)	4,423	3,887	3,831	3,674	3,753	3,672	3,496	△ 177	3,986		
支出	1. 医業費用 b	4,944	4,493	4,272	4,005	3,894	3,828	3,670	△ 157	3,917	
	(1) 職 員 給 与 費 c	2,422	2,420	2,362	2,165	2,139	2,006	2,012	6	2,097	
	(2) 材 料 費	1,449	999	847	769	751	713	666	△ 47	756	
	(3) 経 費	817	832	812	824	751	842	727	△ 115	876	
	(4) 減 価 償 却 費	244	236	240	243	243	254	258	3	176	
	2. 医業外費用	277	250	250	219	226	201	240	39	204	
	(1) 支 払 利 息	168	183	170	146	146	150	139	△ 11	152	
	(2) そ の 他	108	68	80	73	80	51	101	51	52	
	経常費用(B)	5,221	4,743	4,521	4,224	4,120	4,028	3,910	△ 118	4,121	
	経常損益(A)-(B)(C)	△ 798	△ 856	△ 690	△ 550	△ 367	△ 356	△ 415	△ 59	△ 135	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	1			137	138	136	136	0	136	
	うち他会計繰入金				135	135	136	136		136	
	2. 特 別 損 失 (E)	1	1	2	2	3	2	0	△ 1	2	
特別損益(D)-(E)(F)	△ 0	△ 1	△ 2	135	134	134	135	2	135		
純 損 益 (C)+(F)	△ 798	△ 857	△ 692	△ 415	△ 233	△ 222	△ 279	△ 57	△ 0		
累 積 欠 損 金 (G)	5,515	6,373	6,207	6,622	6,440	6,844	6,719	△ 125	6,844		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	85.7	80.3	83.0	84.4	88.9	88.5	87.2	△ 1.3	94.5		

(注)・四捨五入により百万円単位で表示しているため、計数が符合しない場合がある。
 ・平成21年度見込額は、地方公営企業決算状況調査が未確定のため、数値が変動する場合がある。
 ・平成21年度見込額で医業費用の職員給与と経費の間で応援医師報酬等を調整しているため、地方公営企業決算状況調査と一致しない場合がある。
 ・本局経費を病床数で案分した額を加算している。

資本的収支

区分	年度	H19年度		H20年度		H21年度		H22年度			H23年度
		決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算見込額	差引	計画額	
収入	1. 企 業 債		1,019	1,034	24	21	488	285	△ 203		
	2. 他 会 計 出 資 金	270	190	237	414	388	391	450	59	185	
	3. 他 会 計 負 担 金	3	17	17	37	37	28	24	△ 3	33	
	うち基準内繰入金										
	うち基準外繰入金	3	17	17	37	37	28	24	△ 3	33	
	4. 他 会 計 借 入 金										
	5. 他 会 計 補 助 金					1					
	6. 国(県)補助金				31	2	312	318	6	407	
	7. 工 事 負 担 金										
	8. 固 定 資 産 売 却 代 金										
9. そ の 他	1		1		0						
収入計(a)	274	1,226	1,289	505	450	1,220	1,078	△ 142	625		
うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額(b)											
前年度同意等債で当年度借入分(c)							130	130			
純計(a)-(b)+(c)(A)	274	1,226	1,289	505	450	1,220	948	△ 272	625		
支出	1. 建 設 改 良 費	85		48	285	230	1,005	757	△ 248	407	
	2. 企 業 債 償 還 金	182	262	262	318	318	322	322		322	
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金										
	4. そ の 他	3	17	17	37	37	28	24	△ 3	33	
支出計(B)	271	279	327	640	585	1,355	1,104	△ 251	762		
差引不足額(B)-(A)(C)	△ 3	△ 947	△ 962	135	135	136	156	21	136		
補てん財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金									136	
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額										
	3. 繰 越 工 事 資 金										
	4. そ の 他		0		135	135	136	156	21		
計(D)		0		135	135	136	156	21	136		
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	△ 3	△ 947	△ 962								
当年度許可債で未借入又は未発行の額(F)											
実質財源不足額(E)-(F)	△ 3	△ 947	△ 962								

(注)四捨五入により百万円単位で表示しているため、計数が符合しない場合がある。